



医療安全における患者参加の重要性

To Err Is Human: Building a Safer Health System (1999)

米国医学研究機構; Institute of Medicine (IOM) が公表したレポート「人は誰でも間違える」より

Improve Patients' Knowledge About Their Treatment (p.196)

- A major unused resource in most hospitals, clinics, and practices is the patient.

「医療の分野でもっとも使われていないリソースは患者である」と指摘

患者参加とは、患者さんが医療や医療安全に積極的に関わりを持つことや、それを促すための医療者個人や組織のはたらきかけ全般をさします

患者さんが医療に参加できる場面とは…

診察の場面や、治療における意思決定への参加、診療録の確認、ケアプロセスの観察と確認、有害事象や治療への不満の特定、セルフケアの向上、安全上の課題のフィードバックや報告、感染予防の場面などがあります。

患者参加の取り組みは世界中で行われています。人気のプログラムの一つに「Speak Up」という取り組みがあります(米国)。

海外の
患者参加
プログラム
**Speak
Up**
(米国:
The Joint
Commission)

- S:** 疑問や心配は声に出しましょう
- P:** 治療に関心を持ちましょう
- E:** 病気、検査、治療について勉強しましょう
- A:** 家族や友人に相談しましょう
- K:** 服用している薬について知りましょう
- U:** きちんとした医療機関を選びましょう
- P:** 治療方針の決定に参加しましょう

日本語訳: 中央クオリティマネジメント部 中島和江



当部では、The Joint Commission の許可を得て、Speak Upアニメ(各1分の動画)の日本語吹き替え版を作成しました。日常生活の一場面や病院での患者参加の場面がわかりやすく展開されています。当部のホームページ「英語 de いろは」ページにて、近々リリースする予定です。

<http://www.hosp.med.osaka-u.ac.jp/home/hp-cqm/ingai/instructionalprojects/partnership/iroha06/index.html>

現場の声から生まれた テレビ版「阪大いろはうた」

- ・病院案内と同様にテレビでアナウンスする、デイルームで放送するなどの視覚に訴えるものがあるとよい。
- ・テレビ放送は患者さんが好きなときに見られてよい。入院案内パンフレットに組み込む等してほしい。

病棟
看護師
アンケート
より

患者さんから「看護師さんからの説明に加えて、自分の好きな時に取り組みの目的や内容が確認できるツールが欲しい！」などのご要望が多くあり、テレビ版「阪大いろはうた」を制作し、2012年11月から病室のテレビにて放送しています。

この番組では「い」～「と」の7つの句の内容について事例を交えてわかりやすく解説しています。無料放送でTVカードは必要ありません。ぜひ患者さんにご紹介ください。

- ・メロディー♪をつけ院内放送で流せば、より覚えてもらえる(50歳代、女性)。
- ・外来患者を含めて皆に知ってもらえるようにしてほしい(80歳代、女性)。

患者さん
アンケート
より



音声流れるため、
イヤホンをご使用ください

- ・「病院案内」のボタンを押すと、「案内1」・「案内2」の視聴ができます。
- ・阪大「いろはうた」の放送は「案内1」で見ることができます。
- ・番組の放送時間は約5分間です。
- ・番組は、院内ホームページにて職員の皆さんも視聴できます。

新入部員の紹介